

28

[新潟大]

微分可能な関数 $f(x)$ が、すべての実数 x, y に対して

$$f(x)f(y) - f(x+y) = \sin x \sin y$$

を満たし、さらに $f'(0) = 0$ を満たすとする。次の問いに答えよ。

- (1) $f(0)$ を求めよ。
- (2) 関数 $f(x)$ の導関数 $f'(x)$ を求めよ。
- (3) 定積分 $\int_0^{\frac{\pi}{3}} \frac{dx}{f(x)}$ を求めよ。

29

[東京医歯大]

m, n を自然数として、関数 $f(x) = x^m(1-x)^n$ を考える。このとき以下の各問いに答えよ。

(1) $0 \leq x \leq 1$ における $f(x)$ の最大値を m, n を用いて表せ。

(2) 定積分 $\int_0^1 f(x)dx$ を m, n を用いて表せ。

(3) a, b, c を実数として、関数 $g(x) = ax^2 + bx + c$ の $0 \leq x \leq 1$ における最大値を $M(a, b, c)$ とする。次の 2 条件(i), (ii)が成立するとき、 $M(a, b, c)$ の最小値を m, n を用いて表せ。

(i) $g(0) = g(1) = 0$

(ii) $0 < x < 1$ のとき $f(x) \leq g(x)$

(4) m, n が 2 以上の自然数で $m > n$ であるとき、 $\frac{(m+n+1)!}{m!n!} > \frac{(m+n)^{m+n}}{m^m n^n} > 2^{2n-1}$

が成立することを示せ。

28

[新潟大]

(1) 条件より, $f(x)f(y) - f(x+y) = \sin x \sin y \cdots \cdots \textcircled{1}$

①に $y=0$ を代入すると, $f(x)f(0) - f(x) = 0$ となり,

$$f(x)\{f(0) - 1\} = 0$$

ここで, $f(0) \neq 1$ とすると, 任意の x に対して $f(x) = 0$ となり①は成立しない。
よって, $f(0) = 1$ である。

(2) 関数 $f(x)$ は微分可能なので, ①の両辺を y で微分すると,

$$f(x)f'(y) - f'(x+y) \cdot 1 = \sin x \cos y \cdots \cdots \textcircled{2}$$

②に $y=0$ を代入すると, $f(x)f'(0) - f'(x) = \sin x$

$$f'(0) = 0 \text{ から, } f'(x) = -\sin x$$

(3) (2)から, C を定数として, $f(x) = \cos x + C$ となり, (1)より,

$$f(0) = 1 + C = 1, \quad C = 0$$

よって, $f(x) = \cos x$ であり, $I = \int_0^{\frac{\pi}{3}} \frac{dx}{f(x)}$ とおくと,

$$\begin{aligned} I &= \int_0^{\frac{\pi}{3}} \frac{dx}{\cos x} = \int_0^{\frac{\pi}{3}} \frac{\cos x}{1 - \sin^2 x} dx = \int_0^{\frac{\pi}{3}} \frac{\cos x}{(1 - \sin x)(1 + \sin x)} dx \\ &= \frac{1}{2} \int_0^{\frac{\pi}{3}} \left(\frac{1}{1 - \sin x} + \frac{1}{1 + \sin x} \right) \cos x dx = \frac{1}{2} \left[\log \left| \frac{1 + \sin x}{1 - \sin x} \right| \right]_0^{\frac{\pi}{3}} \\ &= \frac{1}{2} \log \frac{2 + \sqrt{3}}{2 - \sqrt{3}} = \frac{1}{2} \log (2 + \sqrt{3})^2 = \log (2 + \sqrt{3}) \end{aligned}$$

[解説]

関数方程式の頻出タイプの問題です。(2)は微分係数や導関数の定義を利用しても構いませんが, 問題文に「 $f(x)$ は微分可能」と書かれていますので, 直接, ①の両辺を微分しています。

29

[東京医歯大]

(1) $f(x) = x^m(1-x)^n$ に対し,

$$\begin{aligned} f'(x) &= mx^{m-1}(1-x)^n - x^m \cdot n(1-x)^{n-1} \\ &= x^{m-1}(1-x)^{n-1}(m - mx - nx) \\ &= -x^{m-1}(1-x)^{n-1}\{(m+n)x - m\} \end{aligned}$$

x	0	⋯	$\frac{m}{m+n}$	⋯	1
$f'(x)$		+	0	-	
$f(x)$		↗		↘	

これより、 $0 \leq x \leq 1$ における $f(x)$ の増減は右上表のようになり、その最大値は、

$$f\left(\frac{m}{m+n}\right) = \left(\frac{m}{m+n}\right)^m \left(\frac{n}{m+n}\right)^n = \frac{m^m n^n}{(m+n)^{m+n}}$$

(2) $I(m, n) = \int_0^1 f(x) dx = \int_0^1 x^m(1-x)^n dx$ とおくと、

$$\begin{aligned} I(m, n) &= \frac{1}{m+1} \left[x^{m+1}(1-x)^n \right]_0^1 + \frac{n}{m+1} \int_0^1 x^{m+1}(1-x)^{n-1} dx \\ &= \frac{n}{m+1} I(m+1, n-1) = \frac{n}{m+1} \cdot \frac{n-1}{m+2} I(m+2, n-2) \\ &= \frac{n}{m+1} \cdot \frac{n-1}{m+2} \cdot \frac{n-2}{m+3} \cdots \frac{2}{m+n-1} I(m+n-1, 1) \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{ここで、} I(m+n-1, 1) &= \int_0^1 x^{m+n-1}(1-x) dx = \left[\frac{x^{m+n}}{m+n} - \frac{x^{m+n+1}}{m+n+1} \right]_0^1 \\ &= \frac{1}{m+n} - \frac{1}{m+n+1} = \frac{1}{(m+n)(m+n+1)} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{よって、} I(m, n) &= \frac{n}{m+1} \cdot \frac{n-1}{m+2} \cdot \frac{n-2}{m+3} \cdots \frac{2}{m+n-1} \cdot \frac{1}{(m+n)(m+n+1)} \\ &= \frac{m!n!}{(m+n+1)!} \end{aligned}$$

(3) 関数 $g(x) = ax^2 + bx + c$ に対し、条件(i)より、 $g(0) = g(1) = 0$ なので、

$$g(x) = ax(x-1) \cdots \cdots \textcircled{1}$$

また、条件(ii)より、 $0 < x < 1$ のとき $f(x) \leq g(x)$ なので、

$$g(x) - f(x) = ax(x-1) - x^m(1-x)^n = -x(1-x)\{a + x^{m-1}(1-x)^{n-1}\} \geq 0$$

よって、 $a + x^{m-1}(1-x)^{n-1} \leq 0$ 、 $x^{m-1}(1-x)^{n-1} \leq -a \cdots \cdots \textcircled{2}$ ここで、 $h(x) = x^{m-1}(1-x)^{n-1}$ とおくと、(i) $m-1 \geq 1$ 、 $n-1 \geq 1$ ($m \geq 2$ 、 $n \geq 2$) のとき $0 \leq x \leq 1$ における $h(x)$ の最大値は、(1)の結果を用いると、

$$\frac{(m-1)^{m-1}(n-1)^{n-1}}{(m-1+n-1)^{m-1+n-1}} = \frac{(m-1)^{m-1}(n-1)^{n-1}}{(m+n-2)^{m+n-2}}$$

$$\text{よって、} \textcircled{2} \text{より、} -a \geq \frac{(m-1)^{m-1}(n-1)^{n-1}}{(m+n-2)^{m+n-2}}$$

(ii) $m=1$ 、 $n=1$ のとき

$$h(x) = 1 \text{ となり、} \textcircled{2} \text{より、} -a \geq 1$$

(iii) $m=1, n \geq 2$ のとき $h(x) = (1-x)^{n-1}$ となり, $0 \leq x \leq 1$ における最大値は 1 から, ②より $-a \geq 1$ (iv) $m \geq 2, n=1$ のとき $h(x) = x^{m-1}$ となり, $0 \leq x \leq 1$ における最大値は 1 から, ②より $-a \geq 1$ さて, $g(x)$ の $0 \leq x \leq 1$ における最大値 $M(a, b, c)$ は, ②から $a < 0$ として,

$$M(a, b, c) = g\left(\frac{1}{2}\right) = -\frac{1}{4}a$$

以上より, $M(a, b, c)$ の最小値は, $m \geq 2, n \geq 2$ のとき $\frac{(m-1)^{m-1}(n-1)^{n-1}}{4(m+n-2)^{m+n-2}}$, $m=1$ または $n=1$ のとき $\frac{1}{4}$ である。(4) (1)より, $f(x) \leq \frac{m^m n^n}{(m+n)^{m+n}}$ (等号は $x = \frac{m}{m+n}$ のとき) より,

$$\int_0^1 f(x) dx < \int_0^1 \frac{m^m n^n}{(m+n)^{m+n}} dx, \quad \frac{m!n!}{(m+n+1)!} < \frac{m^m n^n}{(m+n)^{m+n}}$$

よって, $\frac{(m+n+1)!}{m!n!} > \frac{(m+n)^{m+n}}{m^m n^n}$ ③また, (1)(3)から, $m > n \geq 2$ のとき, $\frac{m^m n^n}{(m+n)^{m+n}} \leq \frac{(m-1)^{m-1}(n-1)^{n-1}}{4(m+n-2)^{m+n-2}}$

$$\frac{(m+n)^{m+n}}{m^m n^n} \geq \frac{4(m+n-2)^{m+n-2}}{(m-1)^{m-1}(n-1)^{n-1}} \text{④}$$

 $J(m, n) = \frac{(m+n)^{m+n}}{m^m n^n}$ とおくと, ④より $J(m, n) \geq 4J(m-1, n-1)$ となり,

$$J(m, n) \geq 4^{n-1} J(m-n+1, 1)$$

ここで, $J(m-n+1, 1) = \frac{(m-n+2)^{m-n+2}}{(m-n+1)^{m-n+1}} = (m-n+2) \left(\frac{m-n+2}{m-n+1}\right)^{m-n+1} > 2$ よって, $J(m, n) > 2 \cdot 4^{n-1} = 2^{2n-1}$ ⑤となり, ③⑤から,

$$\frac{(m+n+1)!}{m!n!} > \frac{(m+n)^{m+n}}{m^m n^n} > 2^{2n-1}$$

[解説]

前半は有名問題ですが, 後半はこの結果を誘導として利用するもので, 実質的に 2 題分以上の分量があります。どこまで記述できるかが問われています。